



令和7年度第1回 「しがweb アンケートプラス調査」

(県外向け調査)の結果について

1 調査の目的

滋賀県以外にお住まいの方を対象として、滋賀県に対するイメージ・意識・認知度等をインターネットを活用して適時迅速に調査し、速やかに県の施策に活用するための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県外 近畿地方(京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)
東海地方(愛知県、岐阜県、三重県)
北陸地方(富山県、石川県、福井県) 在住の満18歳以上の個人
- (2) 標本数 1,000人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するweb調査
- (4) 調査期間 令和7年6月28日(土)～7月7日(月)
- (5) 調査会社 株式会社ブランド総合研究所

3 調査項目

琵琶湖におけるレジャー利用をしている人へのアンケート

4 主な調査結果 ※詳細は別添集計表(エクセル表)を参照ください。

Q1：レジャー活動を目的に琵琶湖を訪れたことがある人は2割弱(18.2%)

Q2：「琵琶湖ルール」を知っている人は全体の約1割(9.0%)

Q3：「琵琶湖ルール」について知っている人が多い項目は「プレジャーボートの航行規制水域内での航行禁止」(52.2%)、「外来魚(ブラックバス、ブルーギル)のリリース禁止」(51.1%)

- Q4：「琵琶湖ルール」について知っている項目で「プレジャーボートの航行規制水域内での航行禁止」と答えた人は、その規制内容について何らかのことを9割以上の人知っている（「詳しい内容は知らなかった」（6.4%）からの帰結）
- Q5：琵琶湖でレジャー活動された内容で最も多いのは「魚釣り」で4割を超えており（41.2%）、次いで「バーベキュー」が4割弱（39.0%）
- Q6：レジャー活動は、東近江地域（近江八幡市、東近江市）（18.7%）、湖西地域（高島市）（17.6%）をはじめとして多くの地域に分かれたが、わからないとの回答も3割近くあった（26.9%）
- Q7：琵琶湖のレジャーについての情報収集は、最も多いのは「滋賀県ホームページ」（23.1%）、次いで「テレビ」（20.9%）、「SNS」（17.6%）となった。
- Q8：外来魚を釣り上げた場合の処理については、「外来魚回収ボックス・回収いけすに入れる」（38.7%）、次いで「リリースする」（36.0%）となった。
- Q9：魚釣りで普段使うルアーはハードルアーがおよそ6割（58.7%）。
- Q10：魚釣りでソフトルアーを使う人は、「生分解性プラスチック」（42.9%）と「従来のプラスチック」（40.0%）とほぼ半々。
- Q11：魚釣りで釣った魚を持ち帰らないのは「かわいそうだから」という理由などがあつた。